

九
一六
〇〇一〇一〇
〇二二〇
〇六九四一
作・參本・△

親展

三・三一

暗號軍函

機密第一五一九二〇番

聯合艦隊長官

八才才軍艦隊司令部

通稱 威爾遜 南西方面艦隊司令長官兼艦

隊下P.P.P. 艦隊司令部ハ敵上陸部隊ヲ擊退セリトノ報ヲ受ケ對兵團

ノ進軍ヲ慢ブヨヨシ及ヨヨシテ應ニP.P.P. 及「ハル」方面ノ作戰ヲ

支援セシムル如ク命ジタルモ其ノ兵力特ニ航空兵力不足ニシテ必ズ

シモ東方ノ期待ニ對シ得ザルベキヲ憾トス切ニ全同ノ爲程強ナル作

戰進行ヲ望ム其ノ成程功ヲ祈ル。

週七十四五 ロ一B (B) 一〇P

海軍

第十位

三ノ島ノ四度一三〇湖を〇〇〇三三三二〇〇〇湖を五〇〇〇米
 〇度ノ数量給ハ空問ヨクナキヲモテ五湖ノ以魚以刺ヲ行動セリ
 三ノ島一三ノ島ヲ水道ヲ修繕セリコト既報ノ通リ
 〇度ノ主知リ〇七〇〇ヨリ一七〇〇送延九三奈變鏡撰セルモ比較的困
 難ナキ

第十位 録取

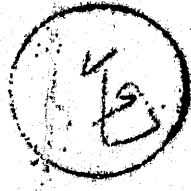
海 軍

9-23

九 二二三 受信二二三一〇 譯丁二四〇〇 電一〇五二九 作紙
譯始二三一六 電一〇五三六 △

● 空襲部隊戦闘概報着信處所

● メリリュウ航空基地



● 大海軍一部 第三通信隊

機密 第二二二二三七番電 二分ノ二

西カロリン空襲團概報 (九月二十一日)

送道

送道

二十九日中山隊トカニ本部ヲ轉進セシモ該隊トカニハ決陸底質加フル

ニ木ノ補給ハ至難ノ狀況ニタチ至レリ目下航空隊豫備隊並ニ海軍諸

部隊ハ概ネ北地區及 P P Q 地區ニ集結シアルヲ以テ陸戰隊大隊ノ一

通 一二〇八四
一二〇九五

於八 (二八五五 KC) 三通

部第一線ニ配備陸軍ノ指揮下ニ入ラシメ昨二十日本部ヲRR管區

ニ轉進セリ

ニ爾後無線通信連絡ハ益不良ヲ豫想サルルニ付電報ハ極力放送ニヨラ

レ度待受電波一A旗艦系三通局所系(五六二五KCニヤ一五KC)尙

當隊發信ハ陸軍系ヲ併用ノ豫定

(註 本電誤字極メテ多シ)

9-25

作戰緊急

九二五



N B B 戰訓速報

當隊零水二機（可動全機）ハ九月十七日以來殆ト連日ノ如ク日没後
 發進在ベリリユ一島敵部隊又ハコスソル水道在泊中ノ敵艦船大艇群等
 ラ攻撃終始敵ノ制空圏ニアリテ連日執拗ナル偵察並ニ熾烈ナル砲撃
 撃下ニアリテモ洞窟ノ利用又ハ道切ナル遮蔽偽裝等ニヨリ小數機ノ
 分散多少可認ナルヲ立證スルモノニシテ且夜暗ニ乘ズル奇襲ニ依リ敵
 ニ與フル有形無形ノ打撃並ニ友軍ノ士氣昂揚ニ寄與スルコト甚大ナル
 モノアリト認ム。

通一二七七三 呂一B（七八五五IC）三遍

機密第二四一五五〇番電
 大海軍一部・横須賀航空隊・南西方面艦隊口
 航空本部・聯合艦隊口・一航空艦隊口

局長	局長	局長	局長	局長	局長
局長	局長	局長	局長	局長	局長
局長	局長	局長	局長	局長	局長
局長	局長	局長	局長	局長	局長
局長	局長	局長	局長	局長	局長
局長	局長	局長	局長	局長	局長

一五二

B六作

9~30
10~2



作	九	三	三	三	三	三	三
九	三	三	三	三	三	三	三
三	三	三	三	三	三	三	三
三	三	三	三	三	三	三	三
三	三	三	三	三	三	三	三
三	三	三	三	三	三	三	三
三	三	三	三	三	三	三	三
三	三	三	三	三	三	三	三

機密第二九一九一五番電

戦闘速報 (九月二十九日)

一、〇七三〇ヨリ一六〇〇迄敵艦上機延五機ニ來襲

二、機密第二九一三一三番電ノ外左チ追加ス

三、コスソル方面敵艦送船團ノ一部(コスソル水道)ハ水道西方海面ニ碇泊(一〇〇頃ノ状況)

三、本日日没後附屬航空隊ハ天候回復後零水二機ヲ以テP P P 敵陣地致

撃ノ豫定

四、本日概ネ降雨視界不良

(東通註 本電再送ノ爲遅延)

通一五四四一 呂ニヨラ (八八八四KC) 卅一通

九〇〇 電〇〇六七九 作 概

9~2930

親至	九				
屏急					
長					
A					
B					
J					
C					
D					

第三通信隊氣付・南河方面艦隊口

機密第二九一九二六番電

聯合艦隊參謀長

第三十特別根拠地隊司令官 威線參謀長

本島攻陥企圖ニモ制シ且キニ艦ニ今迄PPPニ對スル適時所要ノ増援

ハ務ルコトコロール島ニ要スレバPPP本島ノ兵力ヲ削クモノヲ實施スル

ニ要スルモノト認メアリ

右第三十特別根拠地隊機密第二二二〇一五番電「コロール島」兵力整

理ノ件ト關聯念ノ爲

通一五三二二一四一四(一)C.P.P.

通一五三二二一四一四(一)C.P.P.

10-1
30根△

號

傍

作戰緊急

一〇一 受信一五五五
譯始一六〇五

譯了一六四五

電〇〇三八一
〇〇三八〇

作

三〇根△

七六一空・マシヨン水上基地

機密第三〇二一〇〇番電

二分ノ二

發 參謀

當地陸軍ヨリ左ノ情報戦闘報告要求アリ

一其ノ後ノ詳細ニ依レバ二十六日二二〇〇「ペリリユー」東方海面ニ

於テ我陸攻ノ攻撃敵艦船ノ艦橋不詳ニ隻炎上スルヲ目撃セリ立見機

戦果卜判断

二敵ハ陸攻又ハ水偵機音キクテ偵ニ照明機ニ監視射撃ヲ止ムルヲ常ト

ス守備部隊ハ好機利用機ヨリ出テ有利ナル内攻切込政行シアリ

三最近ニ於テハ敵ハ夜間ト艦ヲ出シ艦ヲ以テ洞窟ノ入口等ヲ狙撃スルニ

至レリ中央高地要城ニハ尙約二大隊半ノ陸海軍部隊駐在好機ヲ揮テ

ヘル内攻切込ニヨリ敵ニ大消耗ヲ被ルハ勝ニ必勝ノ初一念ヲ置クコト

通三四六・三五六 於八(一五七) 〇〇一三編

(一)

1980

時期シアリ之ヲ爲準備ノ都合アリ夜間我ノ飛行機ノ飛翔スル時刻ヲ
的確ニ知リタキ旨要求シ來レリ。

豫

①
②

10~1



1001
受信二〇四五
開始二〇〇〇
譯了〇〇二五
電

〇〇〇〇
〇〇〇〇
五五五〇
四七七六

作

根
△

機密第〇一〇九二五番電 四分ノ二三三四

三十根嶺地隊戰團速報區軍ヨリ得タルペリリニ一島戰團狀況左ノ通
 六二十六日ペリリニ一島一八〇〇迄ノ狀況七四高地南部戰線異狀ナ
 キモ敵ハ西方海面及一ガルドリホルコ一波止場附近ヨリ遂次ペリリ
 五一島北地區ヲ系食點トシ我一部部隊ハ激闘ヲ續ケツツアリP
 P地區隊ハ依然中央高地ノ要線ヲ確保新銳飯田大隊主力ヲ遣シ本
 二十六日夜襲攻ノ爆撃ニ呼應全面的肉攻切込スベキモノ辦ヲ持シ
 アリ細部ノ狀況左ノ如キ

通四一〇
四五七〇
四四四四
四七七七
呂一B
ラ一一一
七八五五
知三
通

(1)

8980 → 2. 「ペリリユール」 27日の状況

(1) 本日(27M)ナシD10駆潜艇
→ 5病院船/東方海面ニアリ逐

(1) 敵ハ本朝來超大型 舟 運送船ノ計約三五隻ヲ東方及南方海面ニテ

配置夜間ニ揚陸作業ヲ實施シアリ

(2) 「ガド」島及同地區北部附近ニハ戰車四一アリゲーター一歩

兵一個中隊ノ敵浸入我ガ先發部隊ハ激闘中ナルモ詳細不明

(3) 中央高地北要點「水府山」ニ對シテハ戰ニテ執著セリ步兵二個中

隊ヲ以テ攻撃シ昨日〇七〇〇我 襲ニ多數ノ損害ヲ與ヘ撃退セリ

敵ハ執著ニ我ガ陣地ノ要點ヲ發見突破ニ惟慮シアリ

(4) 地區除ハ連日連夜肉攻切込ニ依リ多大ノ成果ヲ上げツツアリ靜態

ナル日ニ於テモ敵兵員ノ斃殺二〇〇名ヲ下ラズ其ノ後敵戰車ノ破

壞確認セルモノノミニシテモ七輛ニノボル病院船ハ沈シク去來シ

ツツアリ

(5) 昨二十五日二二〇〇頃「デングス」水道東方海面約一五軒附近ニ

火柱ノ上レルヲ見ルモ詳細不明

「ペリリユール」二十七日ノ状況

(1) 本日(27M)ナシD10駆潜艇二十五病院船一東方海面ニアリ逐

(2)

次貨物ヲ揚陸シアルモノノ如シ

(ロ) 飛行場目下盛ンニ修理中ニシテ「グラマン」約二〇組立ニ任ジアリ其ノ他天幕ヲ多數北地區ニ工築セリ移動貨車ノ交通頻繁ナリ地區隊ハ依然樹林所附近ニアリテ戦闘シアリタルモ悉ク擊退セリ左

ノ箇所ハ對峙シツツアリ

(ハ) 北地區ノ狀況ハ全ク故障ノ爲目下不明ナルモ南端ヲ確保シアリ

ド島ノ爆撃熾烈ニシテ同方面ニ對スル行動ヲ示唆シアリ

(ニ) 敵ハ「ピラー」「マイクル」等ニテ宣傳ヲ開始セリ

（東通註

本電誤字多シ）

10~1

緊急
親展
局長

受信
開始

局長	課長	A	B	J	G	F
〇〇三三	〇〇三五	〇〇三六	〇〇三七	〇〇三八	〇〇三九	〇〇四〇
〇〇四一	〇〇四二	〇〇四三	〇〇四四	〇〇四五	〇〇四六	〇〇四七
〇〇四八	〇〇四九	〇〇五〇	〇〇五一	〇〇五二	〇〇五三	〇〇五四
〇〇五五	〇〇五六	〇〇五七	〇〇五八	〇〇五九	〇〇六〇	〇〇六一
〇〇六二	〇〇六三	〇〇六四	〇〇六五	〇〇六六	〇〇六七	〇〇六八
〇〇六九	〇〇七〇	〇〇七一	〇〇七二	〇〇七三	〇〇七四	〇〇七五
〇〇七六	〇〇七七	〇〇七八	〇〇七九	〇〇八〇	〇〇八一	〇〇八二
〇〇八三	〇〇八四	〇〇八五	〇〇八六	〇〇八七	〇〇八八	〇〇八九
〇〇九〇	〇〇九一	〇〇九二	〇〇九三	〇〇九四	〇〇九五	〇〇九六
〇〇九七	〇〇九八	〇〇九九	〇一〇〇	〇一〇一	〇一〇二	〇一〇三

丁空襲部隊戦闘機報告信機所

機密第〇一〇四二番電 三分ノ一三三

九月三十日一八〇〇ノ状況

- 一 北地地位ニP.P.Gノ状況不明ナルヲ戦闘進行中ナルモノノ如シ
- 二 主力方面ハ一部中央高地ノ北方ニ於テ一部攻撃ヲ受ケタルヲ余疑ニ變化ナシ
- 三 艦船ノ状況雨天ノ爲視界不長ナルモ〇一、二、七、五、一、六、哨艇艦艇
- 一〇、輸送船八、油船船約五、油船船約一〇、病院船一隻アリ

通
三五
九六一
〇五八

於八、七、八、五、九、三、通

四 飛行機着陸機小艇約二〇、機銃機二機

三 陸軍ノ新込隊(三一六名)數隊陸軍新込隊ト共ニ奮戰敵約一七〇名

殺傷、殲滅機銃多數鹵獲セリ

六 二九日敵ハ左ノラジオ放送ヲナセリ

(一) 日本ノ兵隊サン、貴方達ガコチラデ戦争シテ故郷ノオ父サンヤオ
母サンニ合フコトモ出来ナイカラオ丘ニ話合ツテ戦争ヲ止メマセ

ウ

(二) 飛行機ノ無い日本ノ海軍航空隊ハツマラナイ

(三) ツマラナイ日本ノ海軍ハ臺灣ニ迫進トツメラレテ撃滅サレテイル

(四)

通一六九九 呂二Bラ十一(七八五五K) 廿二通

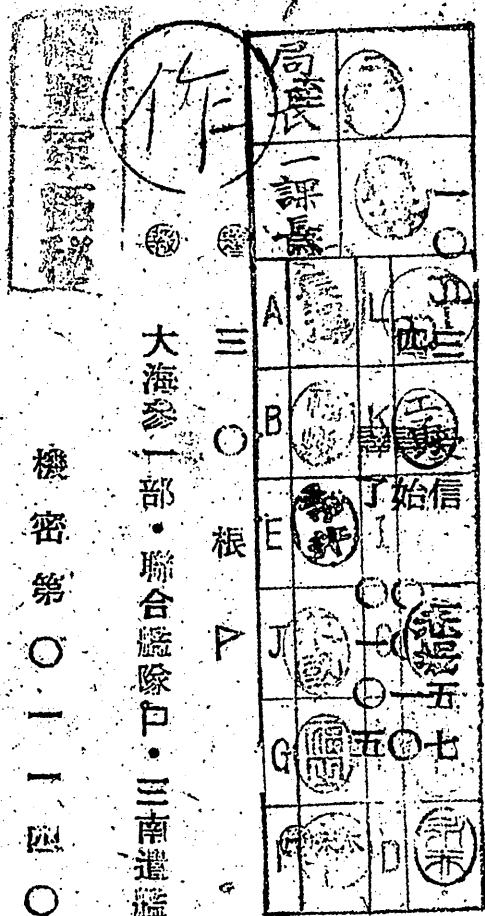
九月下旬敵飛行機ヤツブ島出現狀況

一、二十五日・二十六日・三十日ヲ除キ毎日Bト二五 一機北東ヨリ

二十四日G機四機南方ヨリ夫々來襲主トシテ飛行場方面ヲ銃撃

二敵ベリリユ一島上陸以來毎日ヤツブ視界内ヲ東行又ハ西行スル大

型飛行艦漸次ニ多キヲ加ヘツツアリ(二機乃至五機)



機密第〇一四〇〇番電

大海參一部・聯合艦隊口・三南遣艦隊口・南西方面艦隊口

電〇一五六七 作機

一〇三 受信一九四二 譯了二〇四〇 電〇一四六四 作概

作戰緊急

三〇根戰報概報着信處所・先遣部隊中・三四潜水隊・七六一空

機密第〇一二〇四六番電

三〇ABC 戰報速報(十月一日)

一〇六三〇ヨリ一六四五迄敵艦上機六三機PPニ來襲主トシテ斃

二視界内敵艦艦狀況

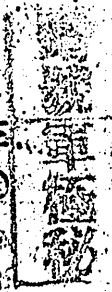
(一)行動中ノ航空母艦群航空母艦三隻驅逐艦四隻本島東方海面ヲ針

路艦本南北ニテ往復運動ナス

(二)ベリリニ十周遠距離一四隻哨戒艇九隻大型輸送船六隻中型輸

送船三隻油槽船二隻以上ノ外視界不良ノ爲視認シ得ズ

浦一五七一 口一Bラ十一(一六一七〇)RC一三一通



一 自ニスソル水送泊艦航空母艦五隻戰艦四隻巡洋艦二隻驅逐艦一
 二隻發着船二四隻小型艦艇一四隻飛行艦二五隻
 四 本一日〇七〇〇航空母艦四隻巡洋艦四隻驅逐艦一二隻ニスソ
 ル水送エ入泊セルモ夜間水道外ニ出テタル部隊ト認ム
 三 附屬航空隊水雷二隊ハ本一日二〇三〇P P P 敵陣地攻撃ヲ決定
 四 二十八日正午頃ヨリ降雨ニ一日正午ニ至リ止ミ天候回復セリ。

1072

0280



一〇二 受信一二三四九 譯了二三〇 電〇〇七八九

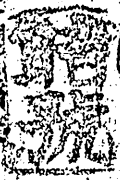
B作 六

至急



● ● ●
ヘリリュウ航空基地・三〇根△
● ● ●
南西方面艦隊戸

機密第〇二〇六五五番電



發 聯合艦隊參謀長

P P Pニ於ケル左ノ戰訓陸軍トモ連絡ノ上報告セラレ度

各種火器ノ舟艇戰車アリゲータ一等ニ對スル效力機雷障害物效果噴進

砲ノ價值防空火器ヲ水際及陸上戰ニ轉用セル場合ノ效果艦砲射撃ニ對

抗スル水際陣地術工物ノ編成法ニ對シ戰車肉迫攻撃夜間攻撃通信機關

ノ掩護法爆彈燃料ヲ防備ニ利用セル實績敵ノ陸戰戰法上乘スベキ點等

通七八九 於八(B)G F



作戰緊急

一〇三 受信一五四四二 譯始一五〇〇 譯了一五四五 電〇一三三一 作

三〇根戰圖概報着信艦所

三〇根

參本

機密第〇二一〇五〇番電 三分ノ一

陸軍ヨリ得タルP P P アンガウルノ狀況

一 P P P 島狀況 (二十八日)

(1) 守備部隊ハ愈々斬込肉攻ニ徹底多クノ成果ヲ收メツツアリ其ノ

戰果後報スルモ増援須藤中隊ノ一部挺身肉攻ニ依ル戰果ノミニ

テモ迫撃砲二 機關砲二 (齒獲) 機關銃一ヲ破壊セリ

(2) 中央高地周邊ニ於テハ敵ハ本朝來中央高地北部及東南部發線

(水府山觀測山)ニ對シ總攻撃ヲ加ヘタル後水府山ニ向ヒ砲擊

シ來レルモ大損害ヲ與ヘ之ヲ 完 全ニ擊退セリ

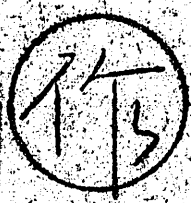
通一四三九 一〇一〇一十四 (一五七一〇) 三通

(一) 水府山北側地區ニ對シテハ西方道路ヲ「アリゲイター」ニ〇輛野砲
 四門其ノ他小型自動車多數北上目下激闘中ナルモ同地區無線故障ノ
 爲詳細不明(地區隊ハ極力連絡ノ處置ヲ講シアリ)

(二) カトブス島並ニ砲撃ハ前日ニ引續キ終日熾烈

一電信課註 本電一、三未着

天



作戰緊急

一〇三 受信一七三〇九 譯了一八三〇 電〇〇一三三七一 參作本

三〇根戰團概報着信艦所

機密第〇二一〇五〇番電 三分ノ二三

發 三〇根據地隊司令官

(ア) P P P 島周邊ノ艦船ハ巡洋艦一四ヲ含ム九隻輸送船十隻小型上陸用舟艇約六〇隻病院船一隻ニテ東方及南方海面ニアリ

(イ) 飛行場ニハ前電ノ如ク小型機二十數機アリテ其ノ周邊ニハ多數ノ天幕ヲ構築自動車ノ交通頻繁ナリ

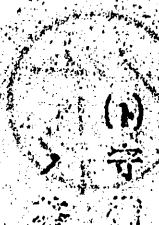
三 アンガウル島地域著變ナシ依然トシテ西北部ノ要域ヲ確保取圍シ

三 ツツアノコト確實ナリ

三 P P P 島狀況 (二十九日)

通一四七八 一五三二 呂一〇 (一六一七〇〇) 三三通

(子) 全般ノ情勢ヲ判断スルニ彼我ノ兵力
 就中海空兵力ノ現況ニ鑑ミ
 (電信課註3311 ト諫ム))
 戦局ノ護衛未カ 樂觀ヲ許サザルモト認ム。



- (イ) 守備兵主力ヲ増強スル中央高地方面ニ於テハ本二十九日迄ノ戦
 同ナク彼我近ク相討戦セシ密夫々同地ヲ整備シツツアリ
- (ロ) 昨二十八日夜兵力未詳ノ敵ハソドニ上ニ高ニ上ニ彼我ノ戦闘ハ本
 二十九日一入〇〇ニ至ルモ依然トシテ整備シツツアリ
- (ハ) P P P 高地部地區又激侵入彼我戦闘ヲ変ヘツツアリ守備ハ一部
 ヲ以テ該戦闘ニ協力セシメアリ
- (ニ) 飛行場ニハ小型機約二〇機整備中ニ西方面及東方面ニアリ
- (ホ) 本日敵機一機ヲ撃墜セリ
- (ヘ) 各地施設ノ斬込肉攻ハ依然效果ヲ顯セアリ
- (ト) 守備部隊ハ中央高地部ニ於ケル地帯ノ確保直ニ各地ノ編置部隊
 ノ整備等ニ努メ更ニ肉攻斬込ヲ阻化以テ戦勢ノ激化ヲ期シ
 アリ

(子) 全般ノ情勢ヲ列ビスルニ彼我ノ兵力現中海空兵力ノ現況ニ鑑ミ
 戦局ノ護衛未カ 樂觀ヲ許サザルモト認ム。
 (電信課註3311 ト諫ム)

10~2

0875



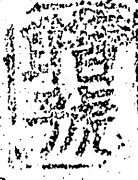
作戰緊急

一〇二二
受信
始信
二二三八
〇四
譯了
二二五〇
電〇一〇九四
作



マシヨン水上基地

三十根



機密第〇二一七五〇番電

三十根電合作第六九號

P P P コ 敵日ノ戰勢ハ全戰局ニ及ボス影響極メテ大ナリ

附屬航空隊ハ在 P P P 友軍ノ死闘ニ呼應萬難ヲ排シ全力ヲ擧ゲテ P P P 敵ヲ

反覆猛撃スベシ

通一〇四五

於八 (四四九七五) 四通

天

三
四
受信
了始
〇二二
〇一〇
二四五
〇五二

電〇一五〇一
作
概

至
急

● 第四艦隊各戸

● 第四五警備隊

PP



機密第〇二二一三〇番電

戦局概報（十月二日）

一、〇五五〇ヨリ一七三〇迄戦爆延四七機來襲編隊一偵察コロル島
ウルクダベル島マカルニ對シ銃爆撃ヲ行ヒ昨夜ペリリュ一島方向

照明彈七發

三 隊果機寄ナシ

三 海陸（殘）彈數

十二 彈高角砲一三（三八二）二十五耗機銃一二五（一六六三六）

十三 耗機銃〇（一二五〇三）

屋一六二八 口一〇ラ十四（八八八四〇）三一通

9280

10-3

10-31

↑

一〇三 受信一八七五三 譯了二〇四〇 電〇一四三九一 作 稿

作 稿 緊急

三〇根 聯國海軍情報所 先遣部隊F・三四潜水隊・七六一空

密 第〇二二一 西七 番 電二分ノ六二

三〇根 戰團速報 十月二日

一五三〇ヨリ一六一〇迄 敵艦上機 延六八P Pニ來襲セリ

二 内界内敵艦艇状況〇七〇〇ノ状況通

三 昨一日夜 附屬航空隊水偵二機ハP P P敵砲兵陣地ヨリノ地上砲火

烈又夜間 敵機二機ヲ追跡チ長クモ被撃チ

ヘリコプター 守備隊ノ目撃タル 戦果左ノ通

四 飛行場 南北及西側各一箇所 燃焼 八本 二日 〇時 〇分

五 陸路 歩兵 〇キモノ一炎上

通 一五二九・一五五〇ロニブラナ一八八八四 〇一三一通

目 一日夕刻四〇敷後着陸シアリタル敷後ハ本二日朝二〇敷後ニシ

テ避退セルモノト認ム

四附屬飛行隊水信ハ本二日以後萬葉ヲ耕シP P P 郊外陸地猛爆ノ豫

定

五本日概シ半晴ニシテ驟雨頻繁ナリ。

10~3



一〇三 受信一二二二〇〇
 開始一二三三七〇
 電〇二二六三
 作概

傍

機密第〇三〇九三五番電
 三分ノ一、二

十月一日當方面狀況

- 一、北地區「ガトブス」ハ連絡出來ザルモ尙銃砲聲盛シナリ
 - 二、主力方面ニ於テハ水府山附近ニ於テ戰鬪セルモ他ハ大ナル戰鬪ナシ敵ハ肉攻ヲ恐レ要點ニ鐵條網ヲ構築シツツアリ
 - 三、飛行場ハ夜間モ照明下ニテ各種作業ヲ實施シテ着陸機四五機内輸送機一他小型機一主トシテ東南ゲイシダ角ニ在リ一ドラム一鐵多數集結シアリ
 - 四、艦船（視界内）〇一二〇約五、約八掃海艇約一〇油槽船約六
- 東及南海面ニ在リ逐次揚陸作業中
- 通一四〇〇二 於八（一五七一〇）三 通

五將兵一同士氣益旺盛。

(東通註、誤字多シ)

(電信誤註、本電三分、三既配布)

1023

作戰特別緊急

一〇三

受信一〇五五
始一二〇五

譯了二二五

電〇一二三七

作機



● 丁空襲部隊戰國機報着信機所

● ペリリユ一航空基地

機密第〇二〇九三五番電 三分ノ三

六昨一日夜戰爆聯合友軍機爆ニ相當ノ效果ヲ收メタルモノト認ム
一日夕[?]機着陸アリタルモ本日朝ハ約二〇機トナリ昨夜退避セル
モノノ如シ輸送船一隻炎上飛行場南側及東北側二箇所炎上スルヲ目
視セリ

（電信機註 本電二三未着）

通一三六四

於八（一五七一〇）三通

10-3

天

作

一〇三 受信一八七二八 譯了二〇〇五 電〇一四六三 作

三〇根職開報着信艦所・先遣部隊P・三四潜水隊・七六一空

機密第〇二一四五〇番電

三〇根職開報(十月二日)

敵艦艇〇九〇〇頃ノ状況

一、空母群第一群空母三隻驅逐艦四隻PPP東方海面游弋中一九四五

第二群空母一隻驅逐艦一隻數不明本島東方海面游弋中

二、PPP周邊驅逐艦四隻輸送船六隻以上ノ外視界不良ニテ視認出來

ズ状況不明

三、コスソル水道附近ニ巡洋艦二隻驅逐艦一一隻輸送船二四隻油槽船

三隻飛行艇二四機

四、昨日一七三〇空母四隻巡洋艦三隻驅逐艦一二隻コスソル水道東

浦一五四〇ロ一ラ十四一六一七〇ko三二通

10~4

集

一〇四 受信一六三六 譯了一七〇七 電〇一八二八 作概・參本
譯始一六四八 〇一八三八

急

丁空襲部隊戰團編報着信艦所

ペリリユール航空基地

機密第〇三〇九一三番電 二分ノ一、二



十月二日一八〇〇ノ状況

一、本日主力方面は大ナル戦果ナシ 敵ハ逐次攻撃準備ヲ整ヘアルモノノ如キ
モ活潑ナラズ

二、北地區ハ概テ敵占領セシガ如キモP.P.G.ハ尙戰團編行シテ

三、艦船狀況、空母二、巡洋艦一、驅逐艦約六、輸送船約八、驅潜艇約五、

油槽船約六、掃海艇十數隻、水平線上艦種不詳數隻、東及南海面一部

西海面ニ在リ

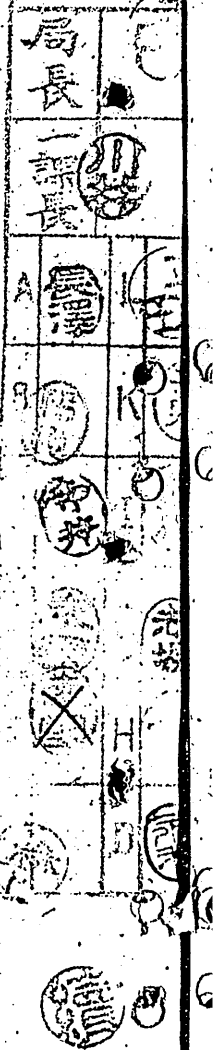
四、飛行場ニハ小型 約三〇ハダヲマシ、輸送柱二、常時四、一〇ヲ以テ哨

通二〇六〇 於八(一五七)〇(三)三通 一

戒ヲ實施シアリ

兵斬込肉攻及晝間猛撃效果逐次増大シツツアリ
アリゲーター戰車三臺擱
坐一炎上一六〇〇頃西海面ハ四軒ニ於テ驅逐艦ヲシキモノ一雙二本火柱
ヲ上グ種沈スルヲ認ム 全員士氣極メテ旺盛。

10~4,7



親展扱

一〇七四 受信一九五五 譯了二〇〇〇 電〇三〇五九
 七四 譯始〇九一〇

軍三兵作
 需令備
 〃 〃 〃
 △ B 報
 三 道

六二警備隊

聯合艦隊P・四艦隊P

機密第〇三一三五〇番電

六分ノ四



(二) 小型ハ落下一〇〇〇米内外ニテ精度良好ト認メザルモ砲臺射撃
 不能ナレバ三〇〇米以内突込メ精度良好願逐艦哨戒ハ四月ヨリ始

連日砲臺二回

六同期間主ナル被害

(4) 戦死警備隊一五三陸軍五四其ノ他六九

(a) 四兵器ノ外輕戰車一十五榴一發電機五(陸基地送信所用
 一修理再用第一砲臺角一)

一四二 呂一Bラ三(五一二五KO)四通

(ハ) 小防空壕六 其ノ他コンクリート建物五 損傷度小ナルモ他ノ諸施設全部

(ニ) 監視艇全部大發二。

(一) 東通註 本電再送ヲ爲遅延 本電誤字極メテ多シ

(一) 電信課註 本電六分ノ一、二、五、六既配布 六分ノ三未着

10-3

一〇三 受信二〇二五 譯了〇一一〇 電〇一六六六 參作 本概



東 通・七六一空

機密第〇三一五三〇電 三分ノ一

照參電第一二五七號

三〇日「巴拉オ」狀況第二報

「ベリユウ」

(1) 中央高地及其ノ附近ニ於ケル現況地區隊長ガ掌握シアル兵力ハ
一八〇〇ニシテ歩兵三大隊(一大隊約三〇〇)其ノ他(野戰病
院海軍無病者約三〇〇ヲ含ム)ナリ

(2) 本三〇日一部ノ敵中央高地北部要點(水府山)附近ニ攻撃シ來
タルモ之ヲ擊退中央地區對勢變異ナシ依然斷込メ肉攻ヲ主トシ
戰勢轉換ニ邁進シアリ

通信課註 (三分ノ二、三所配布)

一六〇七 呂二日一四(七四六五) (三一編)

10-4



緊急

一〇四

受信一七五五
開始一八一二

譯了一八五七 電〇一八四三

作
本概

● 航空襲部以戰團概報着信艦所

● ベリリュウ航空基地

機密第〇四〇九〇〇番電

三分ノ一

十月三日一八〇〇ノ情況

一 敵ハ昨日終夜主力砲兵及艦砲ヲ以テ連續本防禦陣地ヲ砲撃（數萬發）本朝〇七三〇主トシテ南北ヨリ攻撃前進（總攻撃ト判斷セラル）セルモ悉ク大ナル損害ヲ與ヘテ撃退セリ一部約一〇名東山ニ潜入セルモ目下掃蕩中敵ノ攻撃兵力約二ヶ大隊戰車一臺中ニモ觀測山東山ニ攻撃シ來レルハ（約一ヶ中隊）

（電信課註 本電三分ノ二、三未着）

通二一〇五 於八（一五七一〇）三通

10~5

作

緊急

一〇五 受信一三三〇五

譯了 一三三五 電〇二二四九

參作 本概

● 丁空襲部隊戰鬥概續着信處所

● へりりユー航空基地

機密第〇四〇九〇〇番電 三分ノ二

最精銳ナルモノノ如キナルモ我ガ適切ナル狙撃ヲ追撃砲射撃ニ依
リ其ノ半数以上ヲ殺傷セリ

ニ敵ノ編成裝備戰法及其ノ行動等ヲ綜合スルニ主力ハ海兵師團ニシ

テ一部濠洲兵等ヲ混入シアルモノト判斷セララル

三 P P G ニ於テハ尙銃聲熾烈ナリ

四 飛行場狀況

昨日ト變化ナシ晝夜兼行作業續行中。

一 電信課註 本電三分ノ一既配布 三分ノ三未着

通二五一三 於八(一五七一〇)三三

10~4



作戰特別緊急

一〇四 受 信 一八二五 譯 了 一九四五 電 〇一八七五 作 概

三十浪

一航空艦隊P・三十浪戰團概報着信艦所・五十五驅潛隊下
三十四潛水隊下・第一航空艦隊

機密第〇四一一四〇番電

三十浪戰團速報（十月四日）

一、一〇三〇三至ルモP・Pニ對シ敵機ノ來襲ナシ

二、今朝來天候不良ニシテ視界内ノ情況判斷ハ全般的敵艦艇ノ兵力不

明ナルモ視認シ得タルモノ左ノ通

(一) P P P 東方海面驅逐艦四輪送船九驅潛艇二。

通二〇八九

呂一B(一五七一〇K)(三通)

10~5, 6

一〇五
六
受信
始
〇二二三
〇〇三三四
〇一四三七
〇四七

電電〇〇二五四八〇四

作一參本

緊急

ペリリュウ航空基地

東部空襲部隊戦闘概報兼信鑑所

機密第〇五〇九〇六番電二分ノ三

十月四日... 敵の本早朝再び激烈ナル集中砲撃後數回ニ互リ攻撃前進シ來リ...

潮田... 山南... 敵機... 我機...

通二七五三・二八〇五 才八(八八八四四)三一浦

三、艦船狀況 艦隊逐艦約五隻 輸送船約六隻 掃海艇約一〇隻 油糧船五隻 海上トラツク約三隻 敵艦隊ハ晝間視界外ニ在リ 逐次接近シ來ルガ如キモ詳細不明

四、飛行場ノ狀況 陸機ノ狀況ニハ大差ナシ

作業ハ概ネ飛行場ノ修復ヲ了セルモノノ如シ 目下滑走路及誘導路ノ擴張工事及整備機關ヲ増強シアリ

五、現在本島南半部ハ全焼野化サレ要點ハ變形存全ク戦前狀面影ナシ

六、將兵一同士氣愈々盛ナリ

六、將兵一同士氣愈々盛ナリ

10-6

10
9
8
7
6
5
4
3
2
1

一〇六 受信〇八四五 譯了〇九一〇 電〇二六一三 作機
參本

譯始〇八四五

●ペリリエー航空基地

●丁空襲部隊 戰國概報着信監所



機密第〇五〇九〇六番電 二分ノ二

四 飛行場狀況

着陸機ノ狀況ハ大差ナク作業ハ概ネ飛行場ノ修復ヲ了セルモノノ如
シ目下滑走路及誘導路ノ擴張工事及整備機關ヲ増強シアリ
五現在本島南半部ハ全燒野化サレ要點ハ變形シテ全ク戰前ノ面影ナシ
六將兵一同士氣愈旺盛

●電信課註 本電一未着

通二九一七 於八(五二九五KC)六艦隊

10 ~ 5

272

作戦緊急

一〇五

受信一七五〇

譯了二〇五〇 電〇二四五〇

參作
本概

三〇根

三〇根戰艦報告着信艦所・一航空艦隊・七六一空
先遣部隊

機密第〇五二〇〇三番電 二分ノ一

PPP島PPG島戰闘ニ關シ陸軍ヨリ左ノ情報アリ

「ペリリユ」十月三日一八〇〇迄ノ狀況

一敵ハ昨日終夜主力砲兵及艦砲ヲ以テ連續第二防禦陣地ヲ砲撃（四

萬發）本朝〇七三〇主トシテ南北ヨリ攻撃前進（總攻撃ト判斷セラ

ル）セルモ悉ク大ナル損害ヲ與ヘテ擊退セリ一部一〇名觀測山ニ潛

入セルモ目下濤瀉中ナリ敵攻撃兵力約二大隊（戰車約一一）ニテ觀

測山ニ攻撃シ來レルハ（約一中隊）最精銳ナルモノノ如ク我が軍ノ

二六一五 口一五七二〇KC（三通）

（一）

適切ナル狙撃及追撃砲射撃ニ依リ其ノ半數以上ヲ殺傷セリ
 二敵ノ編制ハ戰團及其行動等ヨリ主力ハ海上師團ニシテ一部臺灣兵
 等ヲ混用セルモノト推定セラル
 三「ガドブス」島ニ於テハ尙銃砲聲熾烈ナリ。

（電信譯註 本電二分ノ二未着）

10~5

作

作戰緊急

一〇五

受信二〇〇六〇
開始二〇〇二六

六

譯了〇九三五

電〇二六一七

作格・本

三〇根戰艦備報着信處所・七六一空・先遣部隊
一航空隊

三〇〇根

機密第 二五 一〇〇三 零 二 二分ノ二

四高々度ニハ小型機約三〇(ケ)グラマン(一)輸送機一アリテ夜來四乃至一

〇數機ヲ以テ哨戒實施シテリ

五艦船通過巡洋艦一乃至二 駆逐艦六 輸送船五 油槽船約五

艇五 掃海艇二昨日一六〇〇頃西海面ニ於テ敵機一機沈スル

ヲ見ル

通二六八九 呂一〇ラ一一(四四九七・五三〇)四連放

(一)

本真ノ後敵ノ宣傳ナシ

古二十三日以降本三日迄ニ敵ニ與ヘタル損害ノ大要左ノ如シ

人員總傷少ク走一万余アリ(確認セルモノノミニテ北地區及カドブ

スル島ヲ含マズ) 戦車擱座中戦車一「アリゲイター」ニ擱坐

尙北地區ニテ「アリゲイター」ニ擱坐炎上セリ 破壊及鹵獲セル

敵ノ兵器彈藥多數。

(電信課註 本電一分ノ一既配布)

(東通註 本電再送ノ爲遅延)

10-6

一〇六受信〇〇八三五五
譯始〇〇八三五五
譯了二〇三〇 電〇二六四五
作・參本
B六



航空部隊

機密第〇五二三三〇番電

戰訓

三〇根附屬航空隊水偵ノ夜間ベリリユ一攻撃ノ甚大効果ニ關シテハ
 數度ニ亘リ陸軍側謝電並ニ現地連絡員ノ言ニ徴スルモ之ガ味方士氣
 ニ及ボス効果絶大ナルモノアルトト共ニ敵ハ又極度ニ空襲ヲ恐レ狼
 狽ナルコト實ニ想像以上ニシテ味方切込隊ハ此ノ機ニ乘ジ多大ノ戰
 果ヲ收ツツアリ現地部隊ニ於テハ單ニ上空ヲ飛翔スルノミニテモ相
 當ノ効果アリト希望シアリ單ニ技術的實効果追求ニトラハルルコト
 ナク連續空襲ニ依リ陸上部隊ニ士氣振作ト切込ノ好機ヲ與フルコト
 ニ著眼ノ要アルモノト認ム。

通二九〇一 呂一B(一五七一〇KG)三通

10-6

先

緊急



一〇六 受信 二二三七 譯了 二二〇〇 電 〇〇二八六一九 參作 本概

南東方面部隊戰況概報着信艦所

ペリリユ一航空基地

機密第〇六〇八五二番電 二分ノ一、二

十月五日一八〇〇迄ノ状況

一 本日ハ終日敵ノ行動消極的ニシテ戰線異狀ナシガトブスハ尙戰艦中

二 飛行場ハ昨日ト變ナシ現在ノ着陸機戰艦機一八P一三八 二双發爆

三 艦機十二ダグラス輸送機一計三三機

三 艦船狀況〇一、D七、一、一、病院船一、東及南海面ニ在リ一四三〇頃南

海面ニ於テ輸送船一轟沈セルヲ見ル(味方潜水艦ノ攻撃ニヨル)

四 五日〇〇三〇一〇二五〇飛行場ニ連續火災ヲ認ム我が肉攻ノ成果ハ

通三二二四一 細調査中尙本勢敵中 戰重一ヲ擱坐ス。

通三二二四一 才八(八八八四)卅一

10~8

手紙
下

受信開始 〇六三二〇
了 〇六五〇 電



機密第〇六一七三三番電
九分一二四五六七八九

聯合艦隊機密第〇二〇六五五番電關聯

戰訓其ノ上ニテハ(水雷ニ關スル)戰訓ハ戰艦ノ機密ニ關スルヲ以テ
一各種火器ノ對戰車アリゲイターニ對スル效力

機銃ニテ開射セシム得何レモ至近距離(約三〇〇米)ニ於テ
中戰車ニ於テモ七桿七機銃ニテ炎上セシメタリ

通三六六六 三六八〇
三六八一 三七〇一
三七〇二 三七六一
三七〇三 三七八〇
三七〇四 三八九五
於八(五二三五)四通

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
三三三三三三三三三
四三三二二二二二二
六四四七五五三
二三〇八四四二九

作除本
經理・港
目六

五艦砲射撃ニ對抗スル水際陣地並ニ術
工物編成法水際陣地ノ編

自敵戰車ハ輕機銃並ニ重テキノ射撃ニ依リテ逃避

ニ機雷障礙ノ効果

(一)機雷ノ障礙効果極メテ大ナリ

(二)本島周邊ニ敷設セル機雷ニ依リ沈没セル潜水艦一隻掃海艇

水一隻ヲ

(三)火中(リーフ上)水際ニ埋没セル機雷ハ敵上陸用舟艇數十

ノ擊沈上陸企圖ヲ挫折セシメタリ

三噴進砲ノ價值

(一)噴進砲ノ威力ハ極メテ大ナリ特ニ敵上陸時水際戰團ニ於ケ

ル混亂ニ乘ズルヲ得バ有効ナリ

(二)砲構造上發射可能五、六發トアルモキヤクテ堅固ニシ約十

發射撃ヲ得タリ

九分ノ三未着

五艦砲射撃ニ對抗スル水際陣地並ニ術工物編成法水際陣地ノ編

成ハ縦深ニ徹底シ各箇ノ掩體ニ至ル迄掩蓋ヲ附シナシ得ル限コウ彈力増大スルヲ要スル石積ハ却ツテ損害ヲ必ス地面ヲ

8060

成ハ縦深ニ徹底シ各箇ノ掩體ニ至ル迄掩蓋ヲ附シナシ得ル限
 リコウ彈力増大スルヲ要ス石積ハ却ツテ損害多ク必ス地面ヲ
 掘下ゲ低充眼（砲門）トナスヲ要ス又水際附近ニ在リテハ各
 分隊毎ニ陣地内（ナシ得ル限リ）ニ絶對安全（四十糎砲及二
 五〇―五〇〇籽爆彈）ナル待機掩蔽部ヲ地面上ニ構築スルト
 共ニ各支點毎ニ監視兼指揮所一ヲ準備スルヲ要ス
 尙陣地全般偽裝ヲ徹底シ且清野化スルモ陣地ヲ暴露セザルヲ
 要スPPPノ如ク小ナル島嶼ハ全島水際ト見サスヲ適當トス
 防空壕ノ構築ニ當リテハ如何ナルモノト雖モ必ズ之ヲ陣地（
 戰團）ト關聯セシムルヲ要ス火砲等水際ニ直接配置スルモノ
 ハ至近距離（約五〇〇米）ヨリスル主砲艦砲射撃及小口徑砲
 ノ砲門射撃ニ依リ殆ド破壊セラル從ツテ特ニ地形ノ利用ヲ適
 切ニシ射界射向砲門ノ經始ヲ寡少ニシテ敵砲門ノ射撃ヲ無効
 ナラシムルト共ニ之ガ秘匿ニ徹底スルヲ要ス側壁ハ四十糎砲

(三)

(5) 煙肉攻、敵戦車、最も恐怖スル所ニシテ効果大ナリ。
 (6) 夜間敵戦車、第一線ヲ撤退敵線、後方地帯(橋頭堡内)ニ集

- (一) 至近距離射撃ニ抗シ得ルヲ要ス(鐵筋ベトシ製三米以上アラカクナラン) 掩護ハ必ズ違離開始トナスヲ要ス
- (二) 對戰車肉迫攻
- (三) 一人一車全員肉攻主義ニ徹底スルヲ要ス(爆彈ヲイダシテ飛込ムナリ)
- (四) 資材ハ一人三箇以上ヲ準備擱坐炎上ヲ期スルヲ要シ中戰車ニ對シテハ五箇コン包藥ニテ可ナリ
- (五) 敵戰車ハ其ノ行動極メテ慎重ニシテ豫メ設備セシメ對戰車地雷等ハ効果少シ敵戰車ハ數名ノ隨伴歩兵ヲ伴ヒ徹遠ニテ前進方ニ危険ヲ感ジタ場合等ハ停止砲撃偵察次ヲ前進
- (六) 以上人員肉攻ハ地點ヲ限定進取ニ徹底隱忍近接(通過)ニ乘シ急襲スルヲ要ス
- (七) 煙肉攻ハ敵戰車兵ノ最も恐怖スル所ニシテ効果大ナリ
- (八) 夜間敵戰車ハ第一線ヲ撤退敵線ノ後方地帯(橋頭堡内)ニ集

結スルヲ以テ薄暮位置確認(多数)
手榴弾爆弾

9060

結スルヲ以テ薄暮位置確認多数ノ手榴弾爆弾等携行直接大膽ナル
行動ニ依リ二、三名一組トシ各方面ヨリ潜入シ肉攻セシムルヲ有
利トス。